

ラボ・センター紹介

システムデザインメソドロジーラボ

(System Design Methodology Laboratory)



代表 白坂 成功 准教授

専門分野: 技術分野: システムズエンジニアリング、デザイン思考、システムアシュアランス、機能安全、開発方法論、標準化等
 適用分野/技術システム: 宇宙システム、スマートシティ/スマートグリッド、組み込みS/W、ITシステム
 適用分野/社会システム: 地域活性化、コミュニティ、ビジネスモデル、NPOモデル等
 宇宙開発から社会システムデザイン方法論、安全・安心デザインまで、世界をリ・デザインするための研究・教育を実施。

メンバー 前野 隆司教授、保井 俊之特任教授、嶋津 恵子特任准教授 ほか



システムデザインメソドロジーラボとヒューマンラボでの合同ゼミでの写真

システムデザインメソドロジーラボは、適用分野にかかわらず、広くシステムデザインマネジメントにかかわる方法論を研究するラボです。対象を俯瞰的に見て、システムとして捉えるためにシステムエンジニアリングにもとづくシステム思考の方法論や手法を研究する人、デザイン思考に代表されるイノベティブデザインに関する方法論や手法を研究する人、およびプロジェクトマネジメントやプログラム・ポートフォリオマネジメントに代表されるマネジメントの方法論や手法を研究する人達が集まっています。

システム思考の方法論では、人工衛星やITシステム、スマートグリッドなどのシステム開発方法論やシステムのアシュアランス方法論など、適用分野によらない研究から、適用分野に固有の開発論まで専門家をまじえておこなわれています。これには、Systems of SystemsやEnterprise Systems Engineeringなど、システムエンジニアリング分野における最新の研究も含まれており、アーキテクチャフレームワークや、メタ思考を活用したメタプロセス研究などもこの分野に含まれる研究となります。また、デザイン思考の方法論では、イノベティブなデザインをおこなうための手法などの研究をおこなっており、地域活性化や街づくりなどに広く適用をおこなっています。研究の成果は、授業

のデザインプロジェクトや企業への研修などで使われています。そして、マネジメントの方法論では、組織のポートフォリオからプログラムのマネジメントを効率的におこなうための方法論の研究など、PMBOKをこえたマネジメントの研究や、知財・技術マネジメントとしての標準化戦略についての研究も含まれています。

どの研究も、実際にはなんらかの適用分野において適用して実証される必要があるため、システムデザインメソドロジーラボに所属する前野教授、保井特任教授、嶋津特任准教授をはじめとして、他の先生方にも協力をいただきながら研究を進めます。

方法論、手法の研究の面白さは、自分の考えた方法論や手法が、自分が考えた以上に幅広く適用され、効果をあげることを感じることができるところにあります。興味がある人はぜひ一度ゼミをのぞいてみてください。

システムデザインメソドロジーラボは、ヒューマンラボと共同で、拡張ヒューマンラボとして、毎週土曜日の午後にゼミをおこなっています。ここでは、宇宙開発、スマートグリッドから農業、コミュニティ作りまで、さまざまな適用分野での研究が発表されます。その中で、汎用的な方法論や手法についての研究をおこなうことを目指しています。



慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科附属 SDM 研究所

〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉 4-1-1 慶應義塾大学 協生館
 Tel: 045-564-2518 Fax: 045-562-3502 E-mail: sdm@info.keio.ac.jp

SDM
 System Design and Management